

ひがし

No. 245

人口の動き

—3月末住民登録人口から

世帯数	931世帯
人口	3,734人
転入	18人
転出	59人
出生	3人
死亡	3人
先月と比較して41人減	
昨年と同月と比較して42人減	

56 4/20

広報

しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 総務課 ■ 印刷 / 関市中部印刷



シートベルト
着用を呼びかけ

4月6日から15日の間、春の全国交通安全運動が行われました。この間村の交通安全協会員らが街頭に立ち、シートベルト着用の呼びかけと着用状況調査をしました。

—シートベルト着用など交通安全を呼びかける交安協役員ら。

—4月13日東白川中学校前で

おもな内容

- 日向平地区のほ場整備事業がスタート……………P 2~3
- 56年度予算……………P 4~5
- 消防入退団式のもよう…P 6
- 村づくりの推進役決まる…P 7
- 東白川小で初の卒業式…P 8
- この人……………P 9
- 神土小の閉校記念誌……………P 10
- 村誌編さん室だより……………P 11
- トピック……………P 12
- けいじ板は P 6~7 の下欄

ほ場整備事業がスタート

56年度は日向平地区を実施



本村でのトップを切ってほ場整備事業が行われることになった日向平地区

私たちの村で、ほ場整備事業のことが具体的な話題になってからすでに2年。ようやく56年度に日向平地区で事業が実施されることになりました。この事業は、単にほ場を整備するというだけでなく、村の内容を変えようとする大きな流れの第一歩として大きな意味を持っているといえます。事業の内容を紹介しながら、ほ場整備のもつ意味を考えてみたいと思います。

水田には道路と 用排水路が接続

昭和五十六年度に実施されることになった地区は、日向平全域と隣接する中山地区。面積は四・四畝となっています。

この地区は、村内でも比較的地形のよいところで、見通しもよく、トップを切って実施するモデル地区として最も適当なところといえます。

工事の着工はことしの六月から七月。完成は来年二月ころの予定です。

ひとくちに「ほ場整備事業」といっても、その中には各種の工事種類があります。そのうちのおもなものは、敷地工と道路工、それに用排水路工です。

まず、ブルドーザーやバックホーで水田の耕土を集め、旧石積みをとりはずしてから、切ったり盛ったりして基盤を作ります。これが敷地工です。

これと同時に盛土をして道路を作ります。

用水路と排水路はコンクリート製品を使って整備します。

この三種類の工事は、ほ場整備事業の主体工程となるもので、どの水田も必ず道路と用排水路に接続するよう設計されています。

このほか、湿地地帯の暗きよ排水、電柱などの移転補償、測量設計費、換地費などを含めて工事費は、十町当たり百万円から百二十万円程度になります。

日向平の場合、こうして整備された水田は、一枚の区画の大きさが標準的に十町から十五町になります。これは、従来の古い区画の水田五〜六枚が一枚になる勘定です。

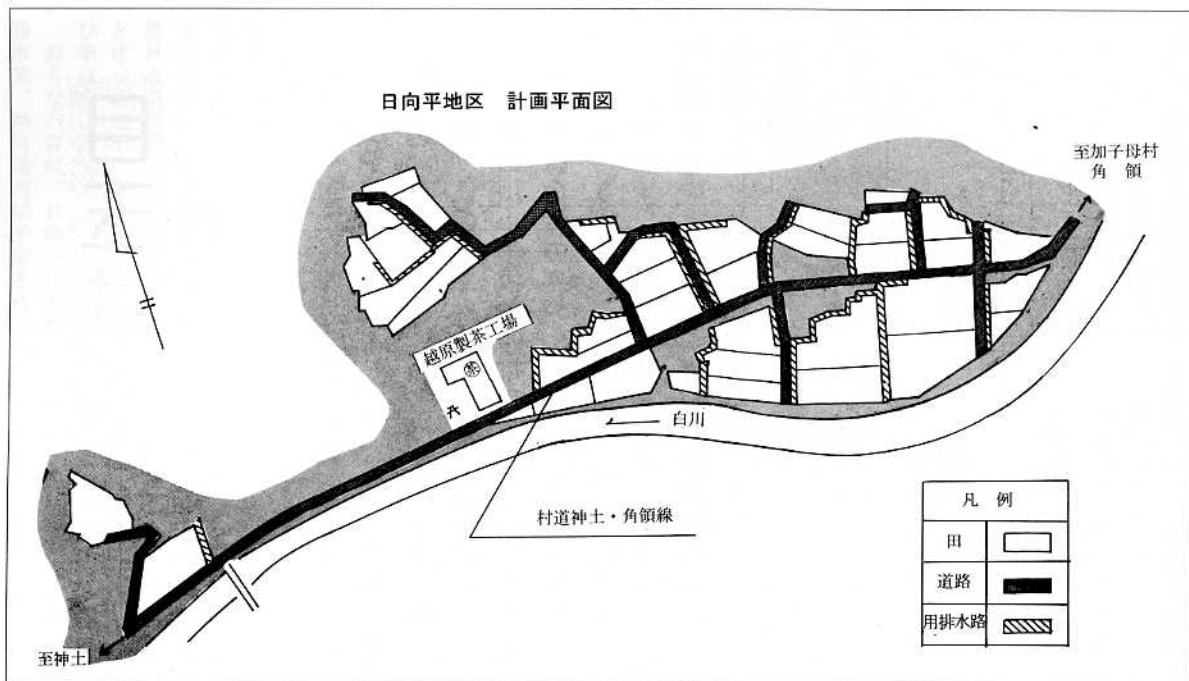
相互理解の気 持ちで実現へ

ほ場整備事業は換地で決まるといわれています。

「換地」ということばも、このごろではかなり理解されるようになってきました。これは、整備されたあとの水田を再配分することです。

ただし、従来自分が持っていた土地の場所や面積がそのままの状態では配分されることはなく、必ずどれだけの置き換えがあることから「換地」ということばが使われています。

換地は、地区の受益者の話し合いによって決められます。話し合いということばのひびきは案外やわらかいようですが、実際には、水利、陽当たり、家からの距離など各種の利害がからんできます。



ですから、お互い納得のいくまでとことん話し合い、結論を出さなければなりません。そのために受益者の中から選出された委員を中心に、一定の基準を作成し、その基準にしたがって何回となく会合を重ねて決定するわけです。

ほ場整備事業の実施は、この話し合いが絶対的な条件であり、お互いの利害を主張すべきときには主張しても、同時に地域全体を考へて譲るところは譲るという相互理解の気持ちがない限り不可能です。

これは換地に限らず工事全般についてもいえることで、何度も何度も話し合いを重ね、根気よく地域全体の気持ちを統一することが大切であり必要になってきます。

日向平地区でも、この話し合いが文字どおり連日連夜続けられ、ついに事業の実施に到達したわけです。

ねらいは地域全体の生活安定と向上

ほ場整備事業は、単に水田の区画を大きくし作業の能率を上げるだけではありません。整備された水田を使って、これまでとは違った農業を育てなければならぬの意味も持たない事業に終

わってしまいます。

今までは違った農業——当然所得の上でもより多く収入が上がるものでなくてはなりません。所得の向上ということをもう少し突っ込んで考えてみると、生産が安定し収穫した生産物が高く売れること、もう一つは、生産のための費用と労力が少なくてすむことがあげられます。

このほか、生産物の収量がある程度まとまることも必要です。これは生産の団地化につながることで、ほ場整備の有利性がいざばんはつきりする部分です。

整備された農地を使って、夏秋ナスやトマトなど生産性の高い作物を選び、団地的にしかも機械化によって少ない労力で多くの生産を上げる——など、新しい農業を育てあげることが必要です。

こうして、中核となる農業と農家を確保しながら、一方では省力された労力を兼業の充実にふり向け、地域全体の生活の安定と向上をはかる——というのがこの事業の最終のねらいです。

さらに、地区全体の道路や排水が改善整備され、これとあわせて飲料水、集会施設、広場など共同施設の整備へと発展していくことが理想です。

このように、ほ場整備事業は、最初から最後まで地区全体の話し

し合いによって進められるもので、自分たちのことは自分たちでやろう——という基本的な姿勢がなによりも大切です。

共同の力で、自分たちの住む地区の生産のための環境や生活のための環境を、今よりもよいものにし子孫に残そう——という気持ちで、事業実現のための大きなエネルギーとなることでしょう。

どうしても必要な村づくり事業

日向平地区には、今後まだまだ話し合いによって決定しなければならぬことがたくさんあります。

ほ場整備事業をよく考へてみると、工事は機械力によって比較的かんたんにできますが、人間の意識を変え、新しいものの考へ方を生み出すという仕事は必ずついてまわります。しかもこの仕事は時間がかかると同時に多くの努力が必要です。

私たちの村が今以上に発展するためには、ほ場整備を主体とする新しい村づくり事業がどうしても必要です。現在各集落で進められているこれについての話し合いが次々と実を結ぶことが期待されます。

目玉は「ほ場整備事業」

新年度の予算十一億七千万円

一般会計

三月十七日に招集された定例村議会で、昭和五十六年度予算が成立しました。一般、特別、事業会計をあわせた総額は、十五億九千九十万円（対前年度当初比〇・二%増）です。百年の大計といわれた東白川小学校建設事業も、この二月の体育館と教職員宿舎の完成により、一連の工事が終わりました。ことしは、それにかわってほ場整備を中心とする新しい村づくり事業がスタートし、予算編成上の最重点として厳しい地方財政の効率的な運用を基本としています。

一般会計は、東白川小学校の完成と第二次農業構造改善事業の終了により前年度当初と比べ二・四%下まわる予算となっています。

本年度は、三期山振農林漁業対策事業、第二次林業構造改善事業の継続実施をはじめ、県営畑地帯総合土地改良事業、新農業構造改善事業の計画を立てる年でもあり、重要な年として一般事務通常経費は節減されています。

一%にあたる四億八千五百万円が見込まれ、前年度当初と比べた伸び率は約一六%です。

▽県支出金△

本年度の県支出金は、一億七千六百万円余りが見込まれ、前年度当初と比べ約四千三百万円の増額となっています。

その内容は、三期山振農林漁業対策補助金や第二次林業構造改善事業補助金など、おもに農林水産業費への補助です。

▽村税△

直接みなさんに負担していただく村税は、前年度当初より千五百八十八万円（一五%）の増収が見込まれています。

世帯平均では約十二万六千円、一人あたり平均では約三万一千円。総額は一億一千八百七十九万円、歳入の約一〇%にあたります。内容のおもなものは、固定資産税の六千二百二十四万円、村民税の三千七百五十万円などです。

▽分担金・負担金△

農林道の開設や舗装などの工事費のうち、受益者であるみなさんに負担していただくのが分担金です。

本年度は、日向地内のほ場整備事業や、第二次林業構造改善事業による下親田地内の大シデ二号線、曲坂地内の中出林道開設工事などへの分担金がおもなものです。

負担金は、保育所の保育料約一千百万円が計上されています。

▽国庫支出金△

本年度の歳入の中で大幅に減ったのがこの国庫支出金です。

東白川小学校の完成により義務教育振興費への補助金が大幅に減ったため、前年度当初に比べ約二千六百万円（二三%強）の減となっています。

反面、土木費では村道神土角領線への補助が約一二%と大幅に伸びているのが本年度の特徴としてあげられます。

特別会計

▽国保△

村の人口の約七〇%を対象に、医療費の給付（七〇%）をはじめ高額療養費、助産費など、住民相互扶助精神のもとに運営されているのが国民健康保険特別会計です。

医療費の高騰などの理由により、ことしもみなさんに納めていただく保険料は平均九・二%余り（個々の世帯人員、構成、所得などにより異なる）引き上げられることになりました。

国保会計全体の予算は二億三千三百万円、前年度当初と比べ一〇%強の増となっています。

▽分収造林△

分収造林特別会計は、村が契約によって民有林に造林を行い、伐採時に一定の比率（村六〇%、土地所有者四〇%）で収益を分け合う制度です。

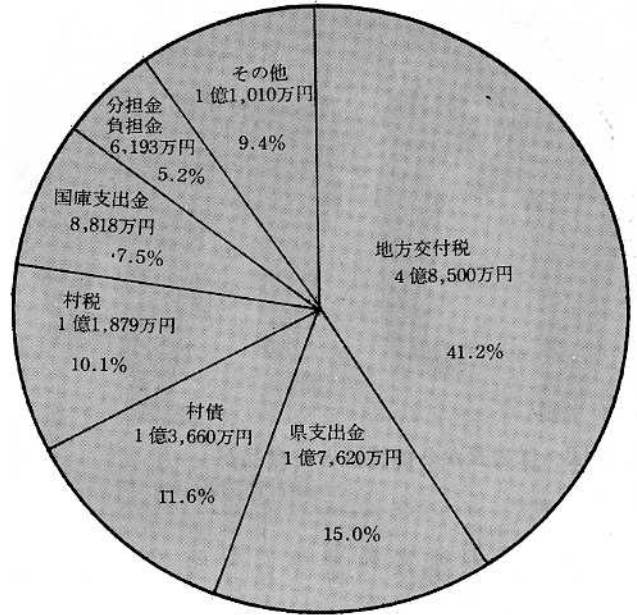
ことしは、分収造林契約面積（現在三五〇）のうち奥平の除伐管理費として五十万円を計上しています。

歳入

▽地方交付税△

村の収入と財政需要の状況に応じて、国税三税（所得・法人・酒税）の一定割合が交付される地方交付税は、歳入総額の約四

歳出



▽農林水産業費△

前年度までトップにあった教育費に変わり、新年度歳出の約二七・八％(三億二千七百万円)を占め、トップになったのが、農林水産業費です。前年度当初と比べ約七千二百万円増え、伸び率は約二八％。

おもな内容は、日向のほ場整備事業、神付地内に予定されて

▽土木費△

いる生活改善センターの工事費などを含む農地費。また、西洞林道開設工事など、林道開設改良費が大幅に増えています。

本年度の土木費は一億八千九百万円(対前年度当初比四三・九％増)で、大幅な伸びを示しています。

村道神土角領線の道路改良工事や舗装工事など、道路橋梁新設改良費への国庫補助金が大幅に増えたためです。

そのほか、通学道路として早

▽公債費△

期改良が望まれていた、村道上親田線の改良工事費も計上されています。

公債費は、村の大きな公共事業などを行うため、国、県、公庫などから借り入れたお金の元利償還金をいいます。

本年度は総額一億六千万円余りで、前年度当初に比べ三六％の増加となっています。

内訳は、昨年度新たに借り入れた村道改良工事と、山村広場(越原・五加旧小学校跡地)の

▽総務費△

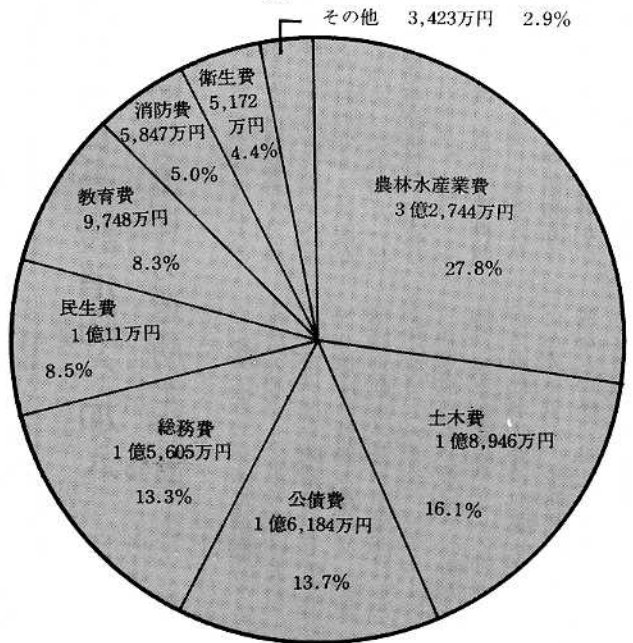
建設費の利息をはじめ、昭和五十三年度に借り入れた村道改良(神土角領線・魚戸線・坂の上線)工事などの元金償還が本年度から新たに始まった——などです。

総務費は、本年度歳出の一三・三％にあたる一億五千六百万円が計上されています。前年度当初と比較しますと伸び率は約三六％。おもに人件費の自然増がその理由です。

一般会計



総額11億7,680万円



事業会計

▽病院事業会計△

立地条件や対象人口など不利な条件下ながら、公的医療機関としての使命を果たすため、独立採算の経営を建て前として医療の適正に努力している本村唯一の医療機関——東白川国保病院の予算です。

昨年度内には、常勤医師の増員をはじめ各種医療器械の導入などにより、診療体制の強化と医療の適正化につとめています。

さらに本年度は、みなさんがより気軽に、安心して利用できるようにと、駐車場新設の計画がたてられています。

業務内容では、年間患者数を入院、外来あわせて延べ二万九千三百八人見込み、その医療収益を一億四千万(対前年度当初比一二・五九％増)見込んでいます。

が、収支の総額では、収入一億六千八百五十万円、支出一億八千六十万円で、こどもも千二百十萬円の赤字予算となっています。

消防団入退団式

古田さんら27人が入団

三月二十二日、昭和五十六年度の東白川村消防団入退団式が行われ、長年村の消防団活動に貢献された二十七人が退団、これにかわって新しく二十七人が入団しました。

式では、村長から退団者に記念品と感謝状が贈られ、長年のご苦勞をねぎらうとともにその

功績をたたえました。新入団者へは桂川団長から辞令が交付され、入団者代表の古田明雄さんが力強く宣誓しました。

入退団者は次のとおりです。

〔敬称略〕



退団へは村長から感謝状と記命品が……。—総合体育館で

- 〔退団者〕
- ▽分団長—安江啓次、村雲巖美、江輝行、村雲義己▽副分団長—安倍徹、新田久、安江忠昭、島倉功、安江政義▽部長—安江徳之、大坪兼行、安江隆、安江保、安江義勝、高木英彰、大坪隆司、青木一博、安江正明、安江政行▽班長—伊佐

治武司、田口節春、島倉完、安江康助▽団員—安江裕助、島田幸雄、今井隆秀

〔入団者〕

- ▽第一分団—田口邦久、古田明雄、今井嗣尚、安江政辰、安江満久、河田正博、新田兼博、安江雅人、安江正樹、安江玲二、今井秀夫、樋口春市、伊佐治辰夫
- ▽第二分団—山下雅春、島倉豊幸、村雲敏治
- ▽第三分団—安江政春、牧野秀男、田口克人、安江隆明、安江章吉、稲垣進、田口喜一、安江千章

〔敬称略〕

△ラップ隊—今井克次、安江敏治、鈴木礼二

〔新年度幹部構成〕

- ▽団長—桂川耕輔▽副団長—中島潮己、安江力男▽本部長—安江貞行▽訓練部長—山口直視▽ポンプ部長—桂川久己▽予防部長—安江啓▽本部係長—安江正彦▽団旗手—安江正彦(兼務)
- ▽第一分団長—安江計幸▽副分団長—田口洋児、安江純憲▽第二分団長—栗本忠一▽副分団長—古田啓次郎▽第三分団長—安江哲男▽同副分団長—三尾清行、村雲和男▽ラップ隊長—田口巽信▽同副隊長—松岡重治

四月から常設消防へ加入 57年度に分遣所を設置

私たちの村では、百九十人の消防団員が生業のかたわら、奉仕的活動をして村を守っています。が、さらに村の守りを強固なものにするため、この四月一日から可茂消防事務組合へ加入しました。

今年度、七宗、白川、本村の三町村が新たに加りましたが、組合の計画によれば、昭和五十六年度には白川町に消防署が、また、七宗町には出張所が建設

され、十月一日から本格的な業務に入るようになっていきます。本村には、昭和五十七年度中に分遣所が設置され、タンク式消防自動車一台が配属されることになっていきます。

したがって、本村での防火活動、救急業務は、ことし十一月白川町に消防署が完成してからになります。が、予防業務(事業所など)は、四月から実施することになっています。

〔敬称略〕

■戸籍の窓 (三月)

(日向) 安江 雅信(けんたろう) 万利子(健太郎)

(西洞) 今井 光(けん) 堅(二男) 礼子(二男)

(柏本) 栗本 重秋(ちゅう) 哲(長男) 朋子(長男)

いつまでも おしあわせに

田口 喜章(神付)

古田 幸代(久須見)

おくやみ 申しあげます

松岡 安一 80歳(陰地)

今井 敏吉 81歳(加倉尾)

今井 ひと 72歳(大沢)

■善意の寄付 (敬称略)

(東白川小学校へ)

現金百万円—東白川村材材生産協同組合・同四十三万八千円—村雲一男(中通)



誕生おめでとう
ごさいます



いつまでも
おしあわせに



おくやみ
申しあげます

みんなで盛り上げを 村づくりの推進役決まる

春の教職員人事

東中今井教頭ら十人が転出

四月一日付で県下の教職員人事異動が行われ、本村関係では中学校教頭の今井辰男先生、小学校教頭の渡辺春芳先生ら村の教育振興に尽くされた十人の先生が転出されました。
後任には他町村や新入の先生

が赴任され、村の学校教育をはじめとする教育全般に尽くしていただくことになりました。
転出、転入された先生がたは次のとおり。(敬称略)

▽転 出 △ (内は転出先

昭和五十六年度の各種団体の長や役員が決まりました。
組長さんをはじめ婦人会、PTA、食生活改善推進員など多くのみなさんが、村の行事や事業への協力、地域や団体の事業推進など、村づくりの推進役としてご苦勞願うわけです。
選ばれたみなさんは、仕事や家庭をもつての奉仕活動です。地域ぐるみ、団体ぐるみの盛り上げが活動の円滑化を図ります。役員だけに仕事を押しつけることのないよう、みなさんのご理解とご協力をお願いします。
新年度役員は次のとおりです。(敬称略)

【組長】

大口―古田伸幸、平―今井倉太、下親田―安江林、上親田―田口勝、中通―安江英幸、神付―安

【PTA】

江涉、中谷―小池一雄、加舎尾―安江成喜、西洞―田口新市、曲坂―菊田節也、日向―桂川治彦、陰地―松岡甲子生、栃山―馬淵陽祐、黒淵―桂川真郷、大明神―島倉安夫、粕本―今井悦夫、宮代―今井俊男、大沢―田口幸男、下野―安江力男、久須見―古田一己

【青年団】

△団長―村雲陽司(平)▽副団長―古田雅彦(平)・粥川幸江(陰地)▽神土分団長―田口幸

【東白川中学校】

▽教頭・今井辰男(黒川小)▽教諭・小原彰(美濃加茂東中)▽同・千賀次生(各務原市中央中)▽同・竹腰純子(可児町桜ヶ丘小)

【東白川小学校】

▽教頭・渡辺春芳(可茂教育事務所)▽教諭・福本周祐(八百津小)▽同・伊藤敏彦(可茂教育事務所)▽同・伊藤政太郎(黒川小)▽同・兼松悟(可児町唯子小)▽同・川口裕二(端浪市陶小)

【東白川中学校】

▽教頭・丹羽和夫(八百津中)▽教諭・安藤征治(長良中)▽同・渡辺興平(美濃加茂西中)▽同・加納孝子(新採用)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・今井辰男(黒川小)▽教諭・小原彰(美濃加茂東中)▽同・千賀次生(各務原市中央中)▽同・竹腰純子(可児町桜ヶ丘小)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

【東白川小学校】

▽教頭・菅岡進(美濃小)▽教諭・鈴木益三(蘇原小)▽同・桂川勝典(加子母中)▽同・水野純明(御嵩町向陽中)▽同・岩間みゆき(新採用)▽同・中島美紀子(同)

生(平)▽越原分団長―伊藤保夫(日向)▽五加分団長―古田俊之(粕本)

【婦人会】

▽会長―安江みき(大明神)▽副会長―安江志津子(大明神)・古田智登枝(久須見)▽会計―桂川美智子(栃山)▽書記―牧野志げ子(大明神)▽神土支部長―安江イトエ(下親田)▽越原支部長―菊田良香(曲坂)▽五加支部長―今井ふき子(宮代)

【食生活改善推進協議会】

▽会長―今井典子(粕本)▽副会長―今井ちづ(粕本)▽会計―古田岸子(下野)▽神土支部長―安江利美(神付)▽越原支部長―加藤寿子(栃山)▽五加支部長―今井直美(粕本)

生(平)▽越原分団長―伊藤保夫(日向)▽五加分団長―古田俊之(粕本)

【婦人会】

▽会長―安江みき(大明神)▽副会長―安江志津子(大明神)・古田智登枝(久須見)▽会計―桂川美智子(栃山)▽書記―牧野志げ子(大明神)▽神土支部長―安江イトエ(下親田)▽越原支部長―菊田良香(曲坂)▽五加支部長―今井ふき子(宮代)

【食生活改善推進協議会】

▽会長―今井典子(粕本)▽副会長―今井ちづ(粕本)▽会計―古田岸子(下野)▽神土支部長―安江利美(神付)▽越原支部長―加藤寿子(栃山)▽五加支部長―今井直美(粕本)

■公庫融資の団体信用生命保険特約

万一の場合に備えて、ぜひ加入を―と、住宅金融公庫では公庫利用者に対して「団体信用生命保険特約制度」の利用を呼びかけています。
この制度は、公庫利用者が債務完済前に死亡、廃疾など不測の事態が生じて支払いができなくなった場合、同制度の保険金によって債務を完済してもらおうというものです。
すでに銀行ローンなどでは広く取り入れられており、ご存じの人もあると思いますが、公庫では昨年十月、利用者のみなさんからの要望や不測の事態に備えてスタートしたものです。

民間ローンの場合は強制加入となっておりますが、公庫の場合は加入も脱退も任意です。また、特約料は毎年債務残額百万円当たり二千八百五十円です。
たとえば、融資額五百万円、返済期間二十五年の場合の特約料は、一年目一万四千二百円、十年目が一万一千円、二十五年目が六千円となっております。
詳しいことは役場土木建設課(有線2171)へ。



詳しいことは役場土木建設課(有線2171)へ。

東白川小で初の卒業式

全員で校歌を合唱

昨年春に開校した東白川小学校で、初の卒業式が三月二十五日、午前九時から真新しい体育館で行われました。

めでたく初の卒業式を迎えたのは、昭和四十三年四月二日から翌四十四年四月一日までの間に生まれた五十九人のこどもたちです。

卒業証書授与式では、野村校長から卒業生一人ひとりに、卒業証書と在校中の思い出などを書いた色紙が手渡されました。



第一回目の卒業式とあって、この日招いた来賓は百人を超え、

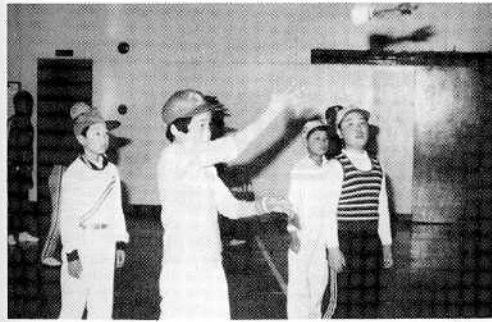
文字どおり盛大な式典となりました。

来賓には、校歌の作詞者大坪久美さん(平)や作曲家越原一郎先生(名古屋女子大付属中学校長)らを迎え、この日のために練習を重ねてきた校歌を全校児童が合唱しました。

卒業証書授与式もよう

東白川小体育館で

ふるさと教室で学ぶ新しいレクスポーツ



三月十五日、東白川中体育館で昭和五十五年度最後の「ふるさと教室」が行われました。

こどもたちに東白川を愛する心を養ってもらおう——との願いからスタートしたこの催し、今回は「新しいレクスポーツを覚えよう」をテーマに、可茂教育事務所から講師を招いて行われました。

新しいレクスポーツ・インディアカを練習するこどもたち

東白川中体育館で

当日は、東白川小五年生ら五十人余りが参加。インディアカとビーチバレーボールという耳慣れない新しいスポーツの基本を習うなど、半日を楽しく過ごしました。

インディアカは、バドミントンのシャトルを大きくしたようなもので、手のひらで打ち、三回で相手コートに返すもの。チーム四〜六人で楽しむ団体競技で、別名ピンポンパン競技ともいわれています。

参加したこどもたちは、初めは手のひらに当てるのがやっとなつたが、時間がたつにつれなんとか相手コートに返すことができるようになりました。

続いてはビーチバレーボール。この競技も六人で行う団体競技

で、バレーボールより少し大きく、また、指をいためないよう弾力のあるボールを使用し、ルールはバレーボールとほぼ同じもの。

こどもたちにとっては、ビーチバレーボールのほうがやりやすかったようで、すぐ試合ができるまでに上達。チームを編成し楽しんでいました。

今回の催しでは、団体競技の上で大切な「みんなで力を合わせて思いやりの心で——」というこどもたちを、こどもたちみんなが楽しみながら身につけてくれたようです。

ふるさと教室は、引き続き五十六年度にも計画されており、青少年の健全育成などの意味からもその成果が期待されます。

カーネーション

五月第二日曜日の「母の日」は、戦後もたらされたものですが、すっかり定着してしまいました。アメリカがこの日を制定したのは一九一四年、ウィルソン大統領の時代でした。

季節の話題

母の日とカーネーションが結びついていたのはそれより数年前で、フィラデルフィアに始まっていたジャーパービス夫人の命日に、娘のアンナがカーネーションを配ったのが反響を呼び、全米に広がったもの。

こうして、カーネーションはイメージの上では五月の花となりましたが、露地で栽培すると開花は六、七月ごろです。現実には、周年花屋に並び、切り花の生産はキクに次いで年間四百五十万本にもなっています。

季節の話題

カーネーションの原種はセキチクのように一重で五弁の花をつけ、ヨーロッパの南部から小アジアに分布します。ギリシア・ローマ時代から栽培され、ワインの香りづけにも使われました。

日本にはオランダから十七世紀に伝わり、近代の普及は大正以降です。



中嶋保健婦

昭和53年から3年間、村の保健婦として働いてくれた長谷川保健婦にかわり、この4月1日から中嶋保健婦が着任しました。

中嶋さんは、白川町三川の出身。昭和53年の春、県立衛生専門学院保健学科を卒業され、2年間白川町の保健婦として勤められました。

昨年1年間は、名古屋市内の病院で看護婦として勤められ、この4月からは再び保健婦として本村の成人病予防をはじめ、各種予防事業、健康相談などを通じ、みなさんの健康づくりのお手伝いをしていくことになりました。

中嶋保健婦は「仕事の経験はありますが、この村のことはなんにもわかりません。初心に帰ったつもりで、健康づくりを住民のみなさんとともに学んでいきたい」と意欲的な一面をのぞかせてくれました。

趣味は音楽鑑賞、好きなスポーツはスキーというきさくで明るいお嬢さん。これまでの経験を生かし、一日も早くみなさんの中にとけ込んで、活躍してくれることが期待されます。

健康づくりの
お手伝いします



期待される
社
教
活
動



中嶋社教主事

この4月1日から、県の派遣社教主事として中島富士雄さん(44)が赴任されました。本村への社教主事派遣は49年7月から52年3月までの日比野弘さんに次いで2人目、4年ぶりのことです。

中島さんは、土岐市の出身で、これまで小、中学校の教師として22年間、学校教育の分野で努力されました。今回、はじめて社会教育の分野を担当されることになり、村の教育委員会に所属して指導、助言していただくことになりました。

受け持ちは本村と白川町にまたがっており、生活の本拠は神土平の教育住宅ですが、勤務は週に3日間です。

社会教育の重要性が叫ばれている今日、長い教員経験を生かした活躍が期待されます。

中島さんは「澄んだ川の流れに心を洗われるような気がしました。社会教育という広くて深いうずの中に初めて身を投じます。東白川の地に、一日でも早くとけ込みたいと思っています」と話してくださいました。

朝の定期便

普通、健康な人は朝食のあと便意をもよおし、朝の定期便などと呼ばれています。この時間帯にみんなが同じように便所へ行きたくなるため、ついでがまんしてしまうと便秘が習慣化してしまいます。

女性に多い便秘

この種の便秘は日本の女性に多く、そのため便秘に対する関心が薄いようです。反面、下痢といえは大あわてする人が多いのも日本女性の特徴です。が、悪いものを排出する下痢より、身体の中に排棄すべきものを貯めている便秘のほうが、健康のためによくありません。

暮らしと健康



女性と便秘

場合、時間を決めてそのときには必ず便所に行く——という習慣をつけることにより、便秘を解消することもできるといえます。

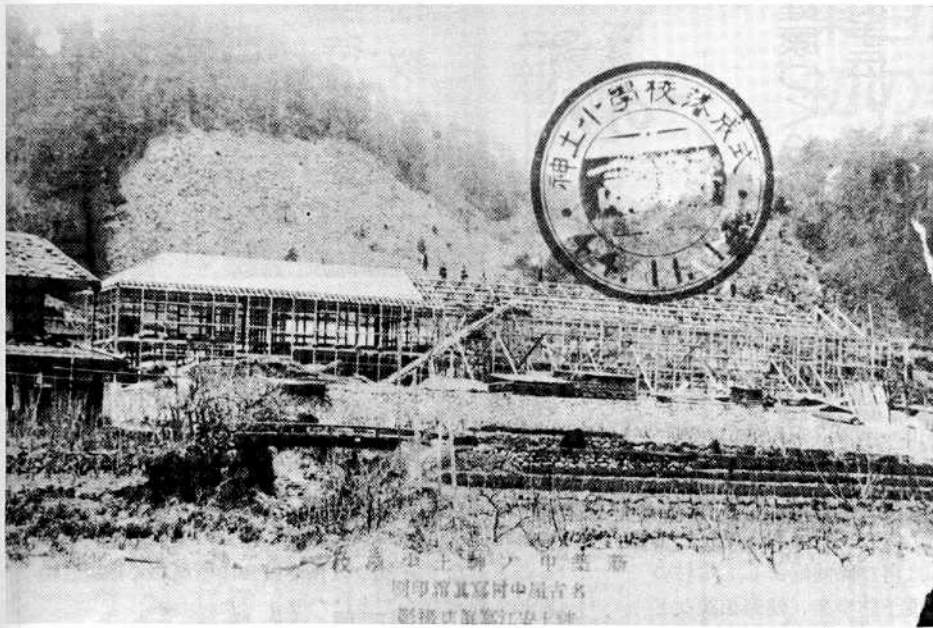
「快便」つてなに
「快便」というのは、排便のあと「すがすがしい気分」になることで、決して色、硬さ、太さなどを気にすることはありません。食べるものによっても色は異なりますし、硬さも違ってきます。前日にとのような食べ物をとったのか、また、生活全体の影響も受けますから、便の状態によってすぐ病気を考えるのは危険です。

心の動きが便意に影響

緊張したり心配ごとがあっても大腸の動きは活発になり、便意をもよおしたり下痢したりすることもあります。便が大腸の中を超特急で通過すれば軟らかくなり、各駅停車の鈍行では硬くなります。

便所に行く習慣を
排便の時期を逸した便秘の

新築中の神土小学校（明治42年）



神土小の閉校記念誌 もうすぐ発刊

神土小学校閉校記念誌編
集委員会（大坪信也委員長）

が、昭和五十四年から進め
ていた記念誌は、五月中旬
発刊をめざし、現在印刷が
進められています。

内容は、大きく五章（明
治以前・明治時代・大正時
代・昭和前期・昭和後期）
に分けられ、各章ごとの沿
革やおもなできごと、当時
の思い出など百余年の歴史
がつづられています。

そのほか、四千六百余人
りの卒業生名簿、教職員名
簿、約八十点の写真などを
盛り込んで二百三十頁とり
っぱなものです。

この閉校記念誌は一冊二
千円。みなさんからたくさ
んの注文があったようです
が、まだ二百冊ほど余裕が
あるようです。

「村内外を問わずこの機
会にぜひ——とお考えの方
があればお早めに申し込ん
でください」と委員会では
話しています。

連絡先は次のとおり。

大坪信也（有線二八六五）
村雲 寛（＃二三九七）
安江啓次（＃二九八一）

暮らしのカレンダー

※東白川小竣工式

- ・とき 5月5日
- ・ところ 東白川小学校

※三種混合予防接種(第2回)

- ・とき 5月13日
1:30~2:00(受付)
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 52.4.16~54.3.31生
まれの未接種者と追加。(該
当者へは通知します)

※不燃物収集

- ・とき 5月14日
- ・ところ 村内各集荷場
- ※ガラス・金物別に分け、前
日の夕方お出してください。氏
名も忘れず書いてください。

※小児マヒ生ワク投与

- ・とき 5月20日
1:30~2:00(受付)
- ・ところ 東白川病院
- ・対象者 52.5.21~56.1.31生
まれの者(該当者へは通知し
ます)

※小・中学生X線撮影

- ・とき 5月26日
- ・ところ 小・中学校

※日本脳炎予防接種

- ・とき・ところ
- (第1回) 1:30~2:00(五加保育園)
- 6月3日 2:15~2:50(神土保育園)
- 3:00~3:30(中学校)
- 6月4日 1:30~2:00(越原保育園)
- 2:15~3:00(小学校)
- 保育園児全員
- ・対象者 小学4年生
- 中学2年生

◎予防接種を受ける乳幼児・保護者のみなさんへ

予防接種には、思いがけない事故が起こることがあります。
次のことに十分注意してください。

- ① 接種時期が近づいたら、カゼなどひかないよう注意
- ② 問診票は責任をもって記入し受け付けへ必ず提出する
- ③ 接種を受けた日は、過激な運動や入浴をさける
- ④ 接種後、とくに異常な症状があるときは、医師に相談する。

新刊紹介



中央公民館図書室から

題 父と子上
作者 水上 勉

今日的課題である少年の校内暴力のことを、小説として非常に興味深く描き、父親はどう生きたらよいのか考えさせられる水上勉の作品。

水上勉の作品には、作者の生いたちを投影した暗いイメージのものが多くありますが、これは作者の父を投影しながら、人間の心の奥底にひそむ差別にもふれています。

問題を起こしたこどもと、職を失った父が、血族を訪ね各地を点々とするうち、人生の重荷を背負った人たちに遭遇します。そして、心の荒漠に今さらながら驚きます。

自らすてた故郷を訪ね、昔をこどもに語ることによって、親子の絆(きずな)とはなにかを鋭く読む人に問いかけようとしています。(啓)

伝説と民話



—村誌編さん室だより

乞食の母子

今から百八十年ほど昔、花といふいざりがいた。彼女はたいへんかわいそうな身の上で、三十歳のとき夫を失い、小さなふたりの女の子があつたので生業にもつけず、あちらこちらをまわって乞食をしながらや々と露命をつないでいた。

諸所をまわって飛驒の中山七里のある岩屈の中で、三年余りも住んでいるうちに足腰が立たなくなり、ついにいざりになつてしまった。

のは、寛政七年(一七九五)だつたという。

あるとき、ここの宗敦寺へ鎌倉円覚寺の坊さんがきて説教をした。村びとはおおせいその説教を聴きに集まり、乞食の親子も人びとにまじって説教を聴きに来た。

・ところで、お布施として上げるものは何もない。そこでおれらじを作つて持参した。

坊さんはいへん喜んで、「ありがたい、これこそ貧者の一燈というものだ。お前は足が不自由のようだが、その心がけであればいつかはきつとなおるであろう」と、はげました。

しかし彼女は、「もうなん年もたつたいざりだ。よくなることもあるまい」と、その言葉を信

じなかつた。

その後、この親子は越原村へたどりついた。そこには午頭天王社(現越原神社)があり、古木が生い茂つて、昼でも暗い垣内であつた。

彼女たちはその大木の下で泊ることにし、その夜は神社の前で古枝を集めてたき火をしながら、一心に午頭天王の神に足腰がなおるよう祈つていた。夜半になり、なんとなく身心がそうかいになり、不思議に思つて足腰を動かしてみると、難なく立つて歩けるようになっていた。

彼女たちは夢かと思はれに喜び、霊験あらたかなる神の名を口ぐちに唱えながらいずこかへ立ち去つたという。

(おわり)

▽今月の料理△

ゆで豚(六人分)

【材料】豚三枚肉(かたまり) 四百㌔・ネギ(ぶつぎり) 一六枚・生姜(薄切り) 一少量・つけ汁(しょうゆ・大さじ二・五杯・ニンニク(みじん切り) 一かけ・化学調味料(少量)・キャベツ(せん切り) 一二百㌔・サラダ菜(少量)

【作り方】①豚肉はかたまりのままなべに入れ、ネギ・生姜・肉がかぶるくらいの水を加えて、約一時間中火でゆでる。②肉をとり出して冷めてから薄切りにし、キャベツのせん切り、サラダ菜とともに盛りつける。

みかんのサラダ

【材料】みかん(六個)・砂糖 一小さじ二杯・ラム酒(小さじ一杯)・サラダ菜(一玉)・酢油汁(少量)

【作り方】みかんは皮をむいて一センチ幅の輪切りにし、砂糖・ラム酒をふり、サラダ菜と盛り、酢油汁をかけて食べる。

◇ ご自慢の料理がありましたら、係までご投稿ください。

兄白寿 桂川虎雄



桂川さんの 白寿を祝う

3月21日、村民センターで陰地の桂川虎雄さん(99)の白寿のお祝いが行われました。桂川さんは、明治37年～38年の日露戦争の旅順攻略戦に参加、二百三高地攻防戦の生き残り勇士。全国でも少ない存在です。

当日は、子3人、孫14人、ひ孫15人をはじめ、親類、近所の人など約80人に囲まれ、記念撮影のあと、ひ孫から花束のプレゼントを受け「やしゃごの生まれるまでがんばる。そのころは何の祝いになるかな」と、出席者らを笑わせておられました。

—ひ孫から花束をプレゼントされる桂川虎雄さん。村民センターで

わたしたちは、東白川村民です。先人の遺業に感謝し、誇りをもって明るく住みよい村をつくりまします。

一、気持ちのよいあいさつをかわし、あたたかい心のふれあいを大切にします。

一、健康なからだをつくり、明るい家庭を築きます。

一、働くことに喜びをもち、豊かな村づくりに励みます。

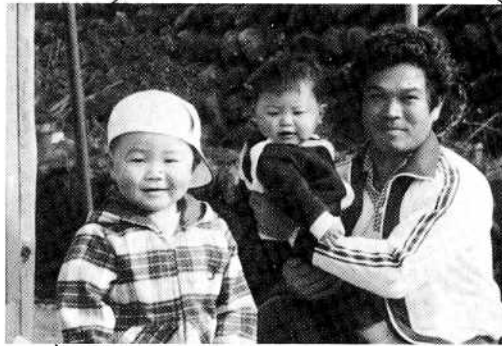
一、美しい自然を愛し、うるおいのある村を育てます。

一、教育を高め、かおり高い文化の村づくりに努力します。



東白川中3年
今井丙午くん

みんなで実践 村民の誓い



すくすく育て

今井昭寿(あきひさ・左)くん 53. 7.1生まれ
智明(ともあき・中)くん 54.12.9生まれ
陰地 今井清彦・みどりさん長男・二男

着ぶくれの野良着脱ぎしを桑株に掛けて春肥懸ろにやる
枯枝に一足ごとに身を宅し枝打つ槍を昇りつめたり
川底の地質調査の爆発音とどろき丈余の水飛沫立つ
槍のごと若杉の幹かず折れて雪の斜面は越原の山
田の形変ふれば生活楽くらしにならむかと夢追ふ峽の農の哀しさ
猫柳折りつつ磧を跡みゆけば身を押すほどの春の風吹く
議員さん無理と思へどこの村の「今日の活路」を捜してみぬか
雪の中に十日墓参を続けしと手をもて語る友の哀しき
入学を喜ぶ間なくつきつきと必需品のみ買ひ揃へやる
帰り来し我を迎ふるこの犬は欠伸してから煙草にむせぶ
よき晴れを八十越えし母親は元気な声でその子を見舞へり
鶯の初音聴きけり峽畑に春肥撒き終へいこひし時に
雪ふかき谷間をよぎるいたちあり蓄光る猫柳ゆるる
時世とは知れども淋し作物をいとしむ心農に冷えゆく
老枯れし百姓の爪切りて居り剪定鉄ではちんぱちんと

- 早瀬勇造
- 安江 香
- 安江とし江
- 伊藤重雄
- 加藤公一
- 田口圭二
- 田口幸
- 安江愛児
- 安江 幸
- 古田光男
- 安江守平
- 今井周一
- 安江 澄
- 村雲伝三
- 山川 冽
- 田口良三



あなたの作品
をお寄せください。
・初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。
・毎月末までに、神土田口良宛に出してください。